

# 定例公安委員会の開催概要

定例公安委員会は、令和元年7月31日（水）に開催されました。

## 1 決裁事項

- ・ 公安委員会の交通規制実施計画（令和元年意思決定第6号）について

## 2 報告事項

### (1) 令和元年6月中の警察安全相談受理状況について

県警察から、令和元年6月中の警察安全相談受理状況に関する報告があった。  
6月中の警察安全相談受理件数は1,877件と、前月より186件(11.0%)増加した。  
相談内容は警察活動全般にわたっており、生活安全部門に関する相談が1,215件と最も多く、次いで刑事部門に関する相談が412件であった。  
特殊詐欺に関する相談件数は286件と、前月より125件増加した。  
6月中に相談を端緒に事件化した事案は2件であった。

委員から、『相談内容で犯罪につながりそうなものについては、未然防止に努め、丁寧にかつ、スピード感をもって対応していただきたい。』との発言があった。

### (2) 令和元年上半期の行方不明者の状況について

県警察から、令和元年上半期の行方不明者の状況に関する報告があった。  
令和元年上半期、届出を受理した行方不明者は199人と、前年同期より17人(7.9%)減少した。また、行方不明者の発見等で行方不明者届を解除した人数は188人であったとの報告があった。

委員から、『行方不明者の年齢、原因も様々であるが、関係機関と協力して対応していただきたい。』との発言があった。

### (3) 令和元年上半期の子供・女性を対象とする性犯罪等の前兆事案の取扱状況について

県警察から、令和元年上半期の子供・女性を対象とする性犯罪等の前兆事案の取扱状況に関する報告があった。

認知件数は161件で、昨年同期に比べ63件（28.1%）減少した。

18歳未満の児童生徒が被害者となった事案のうち、行為者が判明した事案は47件と、前年より7件（13.0%）減少し、18歳以上の女性が被害となった事案のうち、行為者が判明した事案は29件と、前年より4件（12.1%）減少しているとの報告があった。

委員から、『社会的弱者である女性や子供が被害に遭わないよう、迅速な対応と、防止対策にある防犯教室や研修会を進めてもらいたい。』との発言があった。

#### (4) 令和元年上半期の特殊詐欺の認知検挙状況等について

県警察から、令和元年上半期の特殊詐欺の認知検挙状況等に関する報告があった。令和元年上半期の特殊詐欺認知件数は21件、被害総額は約7,491万円と、前年より件数は1件、金額は約4,223万円増加した。

認知事件の特徴として、手口別では高齢者対象の手交型オレオレ詐欺が増加しており、昨年増加した還付金詐欺は減少している。

交付形態別では一昨年に増加し昨年減少した手交型が再び増加している。

年代別では高齢者の割合が高く、60代以上の年代がオレオレ詐欺、架空請求、詐欺盗の被害に遭っている。

検挙対策として受け子被疑者の現場検挙と突き上げ捜査、他都道府県警察との合・共同捜査を推進し犯行グループの壊滅を図ること及び口座凍結や犯行使用携帯電話対策など犯行ツール遮断対策の推進などに努めている。

防止対策として、警察官や高齢者安全・安心アドバイザーによる訪問や各種広報媒体の活用による広報啓発活動のほか、コンビニ従業員に対する研修、電子マネー購入者に対する声掛け指導による水際対策、預金口座からのATM利用振込制限措置などの物理的な被害防止対策等を実施している。

委員から、『新しい情報を積極的に流して、注意喚起をしていただきたい。』との発言があった。

#### (5) 令和元年夏の交通安全運動の実施について

県警察から、令和元年夏の交通安全運動の実施に関する報告があった。

8月1日から8月10日までの10日間、「子供と高齢者の交通事故防止」を基本とした令和元年夏の交通安全運動が始まる。各警察署では、関係機関・団体等と連携した

各種行事、キャンペーン等を実施する。

委員から、『暑くて飲酒の機会が増える時期であることから、しっかりと飲酒運転取締りを行っていただきたい。』との発言があった。

(6) 第25回参議院議員通常選挙に伴う警護警備の実施状況について

県警察から、第25回参議院議員通常選挙に伴う警護警備の実施状況に関する報告があった。

本年7月に施行された参議院議員通常選挙は、野党が統一候補を擁立して事実上、与野党一騎打ちの熾烈な選挙戦が展開され、総理をはじめとする多数の政党要人等が来県し、警護警備を実施した。

委員から、『引き続き行事が目白押しであるが、健康に気を付けていただきたい。』との発言があった。